

🎯教育の継続！「ほめほめ活動→白鳥運動」



子ども達との出会いから、およそ2週間が過ぎました。その間の中部小の印象は…。

- 素直な子どもが多いなあ
- 働き者の子どもが多いなあ
- 笑顔の素敵な子どもが多いなあ

さて、そんな児童に育ってきた一つの要因に、近年取り組まれていた承認(ほめほめ)活動が機能しているのではと想像します。そこで、今年度も、その基本路線を大切にしながらも、千代田の地らしさを加味していければと考えました。一言で言えば、下村湖人先生の「白鳥蘆花に入る」の精神を意識したものにしていきたいということです。先ず、その意味から…。



真っ白な蘆(アシ)の花が咲き競う蘆原に白鳥が静かに舞い降りる。白鳥は背の高い蘆の花に隠れてその姿は見えないが、蘆のさざめきに依ってその存在が分かる。

転じて、一所懸命やっていたらわざわざ大きな声で言わずとも その功績は人知れず残り広まっていってしまうような意味。

もう一つ、湖人先生が大切にされていた価値があります。それは、「渾身勉学」という価値。文字通り、精一杯学びなさいという意味です。

このような事を踏まえ、善行を行っていた児童に「白鳥賞」を、学習に取り組む姿勢に伸びがみられる児童に「渾身勉学賞」を贈りたいと考えています。

その目的は、

- ①賞賛を通じ、自己肯定感ひいては自己有用感を高め、自分らしさに自信を持たせ生活全般への主体性、活力を生み出すこと。
- ②賞賛の内容を放送等で知らせることで、善行のモデルを示し、その広がりを生み出すこと。
- ③本運動を通じ、子どもの可能性や頑張りを見出す教師の温かな心と眼を育むこと。 etc.



湖人先生の想いに少しでも近づけていければという期待を込めて、この取組を「白鳥運動」と名付け、少なくとも、学期1回は、どの子にも光を当ててやれればと考えています。

元気に頑張ってます！1年生(*^o^*)



千代田中部小に、新しい仲間を迎え、約2週間が過ぎました。今年の1年生は、しっかりしていて頼もしい…。地域の方からの感想どおり、学校の中でも、落ち着いて、大変素晴らしい姿を見せてくれています。早速、国語や算数の勉強も始まり、意欲的に頑張っています。



初めての給食は、カレーライス！みんな残さず食べられたかな？

もりもり食べて、心も体も成長しよう(*^o^*)

ほっと一息

「全校のみなさん、おはようございます。今日は、○月○日…。教室、廊下の窓を開け、新鮮な空気を入れましょう。」

これは、毎朝、放送委員会の子が入れる放送の台詞です。新年度に入り、まだ不慣れなところはありますが、一生懸命頑張ってくれています。私は、その放送の最後の台詞がとても気に入っています。それは、こんなフレーズです。

「今日も一日、**礼儀正しく楽しい生活ができるように**しましょう！」

「**四か条の誓い**」を大切にする神埼市の教育方針にピッタリです！昨日より今日、今日より明日と一歩ずつ階段が上れるよう、教職員と子どもたちの心をつなげて笑顔で進んでいきたいと考えています。

